

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
生活支援技術Ⅶ Independent Living Skill Ⅶ		2年	前期	時間割参照
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	演習		選択 (介護福祉士養成課程必修)	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
特記なし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特記なし				
担当に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
新井文子	福祉棟2階	初回授業にて説明	授業中に指示します	
授業の概要				
精神障害および知的障害の原因疾患や特性、個々の生活障害を理解し、その介護・援助の視点と留意点について学ぶ。また、保健・医療と福祉関係者との連携のあり方についても学ぶ。そして、メンタルヘルスの概念を理解し、心の健康について考える機会とする。				
授業の到達目標				
①精神障害および知的障害の特性と介護・援助の視点を理解できるようにする。 ②メンタルヘルスの概念を理解し、心の健康を考えることができるようにする。				
授業の方法				
演習科目であるが、講義が中心となる形式である。精神疾患の理解については、「こころとからだのしくみⅠ」の試験レポートを活用する。				
学習の成果				
①精神障害および知的障害の特性を理解し、介護・援助の基本的な視点を理解することができる。 ②メンタルヘルスの概念を理解し、自己の心の健康について考える機会とすることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（シラバスにそって） 障害の分類と根拠法、障害と生活上の不自由			
第2回目	精神障害の概念とその理解および捉え方、メンタルヘルスの概念、精神障害者の状況			
第3回目	精神疾患の基礎知識① 統合失調症、気分障害			
第4回目	精神疾患の基礎知識② アルコール依存症 精神障害者の特徴と介護・援助の視点① 統合失調症を中心に			
第5回目	精神障害者の特徴と介護・援助の視点② 気分障害を中心に			
第6回目	精神障害者の地域生活、医療の現状、社会生活に必要な条件			

第7回目	精神障害者の地域生活を支える支援と制度、保健・医療・福祉関係者との連携		
第8回目	精神障害者の理解 精神障害者施設関係者の講話（または、視聴覚教材の使用）		
第9回目	「メンタルヘルス」に関するレポート 知的障害の概念とその理解および捉え方、ノーマライゼーションの概念		
第10回目	知的障害の原因と特徴		
第11回目	知的障害児（乳幼児期・児童期）の特徴と介護・援助の視点		
第12回目	知的障害者（成人期・高齢期）の特徴と介護・援助の視点		
第13回目	地域生活と社会参加 必要な条件と支え		
第14回目	まとめ(筆記試験含む)		
第15回目	知的障害者理解に関するVTR視聴または事例紹介		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		20%	配布資料をもとに自主的にメモしている。提示した資料やテキストは必ず持参している。
レポート		20%	メンタルヘルス：自己のメンタルヘルスについて考え、具体的な対策を記述している。
調査報告書			
小テスト			
中間・学期末試験		60%	介護福祉士国家試験（筆記試験）に準じた形式である。
発表内容（態度含む）			
その他			
教科書と参考図書			
教科書 新・介護福祉士選書8「生活支援技術Ⅲ」 中央法規出版			
履修上の心得・ルール			
心の健康について、ライフサイクルを通して考えていく機会としてほしい。講話については予定を変更する場合もある。			